



第 20 号

岩江中だより

発行日：令和4年 3月22日

文責：三春町立岩江中学校長

電話：0247-62-8290

FAX：0247-62-8380

Email：iwae-j@fcs.ed.jp

学校経営のテーマ 『変えてはならないものを守るために、変えるべきものを変え続ける』

卒業証書授与式。未来にはばたけ33名の卒業生！

3年生が岩江中学校を巣立ちました。コロナ禍で過ごした2年間は、様々な場面で制約を受けたり、行事が想定通りに進まなかったり、思い描いていた中学校生活とは異なることも数多く経験しました。そんな中でも、現実を受け止め、やれることに前向きに取り組み、岩江中学校の伝統を立派につないだ3年生一人ひとりに、「ありがとう」と伝えたいと思います。そして、そんな皆さんを支え続けたご家族、地域の皆さん、先生方の存在にあらためて目を向け、次のステージに向かってください。

「見えないものと闘った2年間は、見えないものに支えられた2年間だったと思う。」

【卒業証書授与式 3月11日（金）】



卒業証書授与式 校長式辞 ※一部抜粋

四月から、自ら選んだそれぞれの道を歩みみなさんに、はなむけの言葉を三つ贈ります。

一つ目は、「目標をもつ」ということです。

目標をもっている人全てが、成功できるとは限りません。しかし、成功している全ての人は、必ず目標をもち努力をしています。大切なのは、今どこにいるかではなく、どこに向かおうとしているかです。明確な目標を定め、新たな一歩を踏み出してください。

二つ目は、「挑戦する」ということです。

未来はいつも空白です。その空白を希望で満たすために挑戦してください。挑戦には失敗のリスクを伴いますが、挑戦を続けている限り、失敗にはなりません。目先の結果に臆することなく、挑戦を続けることの価値を胸に刻み、力強く前進してください。

三つ目は、「支え合う」ということです。

私たちは、十一年前の今日、三月十一日に発生した東日本大震災以降、気候変動による大規模な自然災害や、世界中で猛威を振るう新たな感染症により、当たり前の日常が一変してしまうという現実と直面してきました。苦しみの中で助け合って出す答えは、生きていくうえで大きな、大きな力になります。人の心を支えられるのは、人の心しかありません。互いに寄り添い支え合う心を忘れず、家族や友人、地域の人々とともに歩んでください。

岩江中学校で追い求めた「自立」を胸に、みなさんが進むべき新しい道を、時にはひるむことなく全力で、時には肩の力を抜いてゆっくりと、自分のペースで切り開いてください。

保護者のみなさま、お子様のご卒業誠にありがとうございます。コロナ禍の二年間は、様々な活動に制限が加わり、お子様の活躍をじっくりと見届け、その成長に目を細めていただく機会をご提供する場面が少なくなっていました。お子様の健やかな成長を願って、支えてこられたみなさまには、ご心配やご苦勞も多かったことと思います。それゆえに、今日の卒業の日を迎え、立派に成長されたお子様の姿に、感慨もひとしおのことと思います。今日まで、岩江中学校にお寄せいただきましたご支援、ご協力に教職員一同深く感謝を申し上げます。

結びに、卒業生が築き上げてきた伝統をさらに発展させられるよう、在校生、教職員一同、全力で取り組んでいくことをお誓いするとともに、「我らの誇り岩江中学校」を卒業する三十三名の、大いなる活躍を心より祈念し、式辞といたします。

【PTA会計監査会・新旧役員会 3月18日（金）】

今年度最後のPTA事業である、会計監査会・役員会を開催しました。2月10日に開催予定だった授業参観、学年懇談会、拡大委員会、役員会が中止となる中ではありましたが、今年度を締めくくることができました。

保護者の皆様から書面にていただきました今年度の反省については、来年度の拡大委員会にて確認させていただきます。

「やれることを、工夫して」。この1年間の合言葉にもなった方針のもと、本部役員、拡大委員の皆様を中心に、保護者の皆様には大変お世話になりました。

